

審判の役割

主審

・試合の進行

選手をセンターラインに整列させて挨拶をさせる。

- ・ポイの方向が正面から概ね 45 度以内になるようになっているか確認をする。
- ・故意に 1m 以上接近してはいけない旨を確認する。
- ・バックス①～③ フォワード④～⑦、フォワードはバックラインより下がってはいけない。
5人以上同時にセンターラインを越えて敵陣に入る即刻 0-7 で負け
- ・安全地帯へ入っている選手は竹水鉄砲を撃ってはいけない。また、安全地帯へいる選手を撃ってはいけない
- ・アウトになって競技者は自軍の外野から相手選手のポイを破いた場合は復活できる。

次の競技者は、アウトとなる。

- (1) ポイが破れた競技者及びヘルメットからポイが離脱した競技者
- (2) サイドラインおよびエンドラインを越えた競技者。
- (3) 自コートバックラインを越えたフォワードの競技者。
- (4) 故意に竹水鉄砲の水掛け以外でポイを破った競技者。
- (5) 2 本以上同時に竹水鉄砲を持った競技者。
- (6) 相手チームの所有する竹水鉄砲を使用した競技者。
- (7) 相手チームの給水ポイントを故意に移動させた競技者。
- (8) 体調不良、事故等により競技を続行できなくなった競技者。
- (9) 相手コートのペナルティエリアの中に入った競技者。
- (10) 安全地帯から水を掛けた競技者及び、安全地帯の競技者に水を掛けた競技者。
- (11) 故意に相手競技者の概ね 1m 以内に近づいた競技者を 1 度目は警告(イエローカード)とするが、なお同一ゲームで 2 回近づいた競技者。

第 21 条 規則 20 条(1)(2)(3)(8)(9)のアウト競技者は、規則 9 条(7)の規定により競技を継続することが出来る。

- (2) 規則 20 条(4)(5)(6)(7)(10)(11)のアウト競技者は、近くのラインからコート外に出て、自コートエンドライン後方で競技終了まで待機する。

- (3) 規則 9 条(7)により競技を継続する競技者が、自コート側のエンドライン及びサイドライン

よりコート内に踏み入れた場合及び相手側試合場内に踏み入れた場合は自コートエンドライン後

方で競技終了まで待機する。

第 22 条 次の場合には、競技者はアウトにはならない。ポイが破れたり濡れた競技者は速やかに

新しいポイを装着後競技に戻ることができる

- (1) ポイが相手競技者等との不意な接触で破れた場合。
- (2) 安全地帯の相手競技者からの水掛でポイを破られた競技者。
- (3) 安全地帯において相手競技者からの水掛でポイを破られた競技者。
- (4) 規則 9 条(7)により競技を継続する競技者の違法行為によりポイを破られた競技者。

- ・ポイを射抜いた競技者は手を挙げて審判に確認を求める旨の確認をする。

主審及び副審は試合を中断して確認をする。

- ・その他競技者のアウトの確認をする。

バックラインの直前に整列させて試合開始を告げる。

終了後競技者のアウトの確認をする。

残りの選手の数を得点である。試合が終わったらポイ破れぐわいの確認をする。

結果を報告する。